

PS 及び SM の 2025 年 12 月度および年間実績概況

(PS)

1) PS の 2025 年 12 月度の実績概況

生産は 40.7 千トンとなり、前月比+5%、前年同月比-1%となった。

国内出荷は 39.9 千トンで、前月比-2%、前年同月比では-2%となった。

用途別では、包装用は前月並み、前年同月比-6%の 18.3 千トンとなった。分野別では、前月比で OPS と乳酸菌がプラスとなったが、HI シート、射出成型その他はマイナスとなった。前年同月比ではすべての分野でマイナスとなった。

雑貨・産業用は前月比+6%、前年同月比+9%の 6.0 千トンとなった。

フォームスチレン用は前月比-10%、前年同月比-1%の 11.3 千トンとなった。PSP、ボードは共に前月比・前年同月比ともにマイナスとなった。

電機・工業用は前月比+4%、前年同月比-1%の 4.3 千トンとなった。前月比では家電がプラス、事務機器、記録メディアがマイナスとなった。前年同月比では家電、記録メディアがプラスとなったが、事務機器はマイナスとなった。

輸出は、前月比-26%、前年同月比-26%の 1.8 千トンとなった。

出荷合計は 41.6 千トンと前月比-3%、前年同月比-4%となった。

在庫は、前月比-1%、前年同月比+11%の 84.0 千トンとなった(在庫月数 2.0 ヶ月)。

2025 年 11 月度の輸入は前月比+4%の 5.8 千トンで、前年同月比でもプラスとなった。

11 月までの累計を年間に換算すると 68.2 千トン相当となる見込み。

2) PS の 2025 年 年間の実績概況

2025 年年間生産量は、539.2 千トンとなり、前年比-2%であった。

国内出荷は 498.4 千トンとなり、前年比-5%となった。

用途別では、包装用は前年比-6%の 226.9 千トンとなり、射出成型その他を除きマイナスとなった。雑貨・産業用は前年並みの 68.3 千トンとなった。フォームスチレン用は前年比-5%の 147.0 千トンとなり、PSP、ボード分野共に前年比マイナスとなった。電機・工業用は前年比-4%の 56.3 千トンとなり、全ての分野で前年比マイナスとなった。

輸出は、32.5 千トンで前年比-2%となった。

出荷計では、前年比-5%の 530.9 千トンとなった。

在庫は、84.0 千トンとなった(在庫月数 2.0 ヶ月)。

2025 年の輸入は、1～11 月累計で 62.6 千トンに達しており、前年同期(50.5 千トン)比で +24%と大幅な増加傾向にある。年間に換算すると約 68.2 千トンに相当する見込み。

2025 年を振り返ると、年間の国内出荷が前年比-5%、輸出が-2%と減少が続き、生産も同-2%となった。内需は雑貨・産業用途が前年並みを維持したものの、主力の包装用、FS用や電機・工業用での落ち込みが影響し50万トンの大台を割り込んだ。一方で輸入は前年を大きく上回るペースで推移しており、国内市場における輸入品の存在感が増している。

(SM)

1) SM の 2025 年 12 月度の実績概況

生産は、前月比+4%、前年同月比-8%の 121.1 千トンとなった。

国内出荷は 90.6 千トンとなり前月比-2%、前年同月比+2%となった。

用途別では、主力の PS 向けは前月比-6%、前年同月比-11%の 35.4 千トンとなった。EPS 向けは前月比+17%、前年同月比+10%の 8.5 千トンとなった。ABS 向けは前月比+20%、前年同月比+9%の 20.2 千トンとなった。合成ゴム向けは前月比+24%、前年同月比+2%の 9.8 千トンとなった。不飽和ポリエステル向けは前月比-26%、前年同月比-53%の 1.5 千トンとなった。

輸出は、前月比-22%、前年同月比-2%の 28.9 千トンとなった。

出荷合計は、前月比-8%、前年同月比+1%の 119.4 千トンとなった。

在庫は、前月比+3%、前年同月比+7%の 60.2 千トンとなった(在庫月数は 0.5 ヶ月)。

2) SM の 2025 年 年間の実績概況

2025 年年間生産量は、1,332.0 千トンとなり、前年比+3%となった。

国内出荷は 1,081.7 千トンと前年比-1%となった。

用途別では、主力の PS 向けは 499.9 千トンと前年比-5%であった。ABS 向けは 219.1 千トンで前年比+12%、合成ゴム向けは 96.6 千トンと前年比+8%と伸長した。一方で EPS 向けは 82.0 千トンと前年比-10%、不飽和ポリエステル向けは 26.2 千トンと前年比-2%であった。

輸出は 249.4 千トンとなり前年比で+20%と大幅に増加した。

出荷計では、前年比+2%の 1,331.1 千トンとなった。

在庫は前年比+7%の 60.2 千トンとなった(在庫月数は 0.5 ヶ月)。

2025 年全体では、国内出荷(内需)が前年比-1%と微減だった一方、定修影響により生産量(+3%)増加となった。内需減の環境下、その増加分として輸出が前年比+20%増加した。用途別では ABS 向けや合成ゴム向けの需要が堅調に推移した一方、主力の PS 向けや EPS 向けが前年を下回った。

(以上)